

## 消 7/26~28 防士の仕事を体験

幸田高校インターンシップ in 消防署

消防署では、学生の就業体験を通じた職業意識や職業理解の促進を目的として、インターンシップの受け入れをしています。本年度は幸田高等学校の3年生が3人、2年生が3人、合計6人が参加しました。生徒は消防の業務内容について説明を受けたり、消防士と一緒に放水や救急、救助訓練を行いました。生徒は「火災や救急などの訓練以外にも予防業務などのさまざまな事務業務もあることが分かりました」と話していました。また消防士を目指している生徒は「大変な仕事だけど、やっぱり消防士になりたい」と意気込みを話してくれました。



↑放水訓練の様子



↑報告をする派遣隊員の伴尚之消防司令補(中央)と中根航消防士長(右)

## 被 7/27 災地で活動

緊急消防援助隊の活動報告

7月16日(金)から19日(日)に静岡県熱海市の土石流災害現場へ派遣された消防隊員2人が、被災地での活動報告を行いました。派遣隊員は、被災地の状況や活動内容などを町長に報告し、町長は「現場は暑く、二次災害がいつ発生してもおかしくない中、人命救助のため町代表として尽力し感謝する。今回の経験を今後の活動に生かし、後輩たちにも伝えていってほしい」と労いの言葉を掛けました。

## 将 7/27・28 来のために

育児ふれあい体験

幸田高等学校の生徒が、上六栗子育て支援センターで行われた育児ふれあい体験に参加し、妊婦服を着用しての妊婦体験や人形を使っておむつ替えの練習などをしました。妊婦体験では、



↑気分はお母さん



↑苦労しながら妊婦服を着用

「7キログラムある妊婦服は想像よりも重かった。座ったり、一歩足を踏み出すのも大変」と話していました。また実際に遊びに来ていた赤ちゃんを抱っこさせてもらうなどして、赤ちゃんのかわいさと育児の大変さを学んでいました。



↑真剣に作業する子どもたち



8/1

## みステーションに彩りを

### 小学生壁画制作

菱池地内のごみステーションの壁面に岩堀区農基組の小学生が自由に絵を描きました。これは、子どもたちが描いた絵を見て、ごみの減量化、環境保護の意識を高めてほしいと地元で企画されたものです。ペンキが垂れるなどして制作に苦戦する姿もありましたが、複数のペンキを混ぜるなどの工夫をして、カラフルな絵が完成しました。壁画には町の特産である筆柿や、夏らしいクワガタ、花火などの絵が描かれました。

## 40 8/4 年ぶりに リュウゼツラン開花

須美区の田境文一さん方のリュウゼツランに黄色の花が咲きました。リュウゼツランはメキシコ原産の多肉植物で、数十年に1度しか開花しないとされています。今年の4月から6月にかけて伸び始め、約4メートルの高さになりました。田境さんは「60年以上前に母が植えたもので、約40年前に咲いた記憶がある。なかなか見られるものではないのでうれしい」と話してくれました。



↑リュウゼツランの花



↑夏空に咲くリュウゼツランとそれを見つめる田境さん



↑展示資料を見る来訪者



8/5~17

## 世界平和を願って

### 幸田町平和都市宣言記念 原爆パネル展

戦争の悲惨さと平和の尊さを伝えることを目的とした原爆パネル展を図書館ギャラリーで開催しました。本年度は幸田町平和都市宣言記念として、広報の表紙にもなった、姉妹都市の長崎県島原市とゆかりのある画家・版画家の小崎侃さんの平和に関する版画作品などが展示され、戦争体験ビデオ「草の根の語りべたち」が常時上映されました。また、昭和2年にアメリカから日米友好の使者として贈られた青い目の人形を紹介するコーナーもあり、訪れた人たちは展示資料に見入っていました。